

# 「結婚」に関するアンケート調査

---

## 調査の結果

平成 25 年 1 月

### 調査の概要

#### 1. 調査概要

- (1) 調査の目的
- (2) 調査手続きと調査票回収状況
- (3) 回答者の属性

#### 2. 未婚者の意識

- (1) 未婚・既婚の別
- (2) 未婚者の生涯の結婚意志
- (3) 希望する結婚年齢
- (4) 結婚相手との希望年齢差
- (5) 独身でいる理由
- (6) 結婚相手の条件として考慮・重視する割合
- (7) 未婚者の希望子ども数
- (8) 未婚者のライフスタイル
- (9) 婚活の状況
- (10) 異性との交際の状況
- (11) 結婚を考えたとき気になること

#### 3. 既婚者の意識

- (1) 出会いのきっかけ
- (2) 結婚のきっかけ
- (3) 理想子ども数
- (4) 予定子ども数

#### 4. 若者全体の意識

- (1) 結婚の利点
- (2) 独身の利点
- (3) 結婚・家族に関する意識
- (4) 未婚・晩婚の原因
- (5) 出生率が低い原因
- (6) 結婚についての支援

南魚沼市 総務部企画政策課

担当：企画班 TEL (025)773-6672 内線 208

## 調査の概要

### 1. 調査概要

#### (1) 調査の目的

少子・高齢化社会の中にあつて、南魚沼市の市民全体に占める高齢者（65歳以上）は約16,000人（26.1%）（2010年10月：国勢調査）であり、さらに、2030年（平成42年）の市の高齢化率は35%を超えると推測されます。また、南魚沼市の2010年10月の年少人口（14歳以下）は、およそ8,300人（13.6%）、それが2030年（平成42年）には約5,500人（約11%）になると推測されます。

こうした中で、このアンケート調査は、市内の若者の結婚に対する意識等を調査し、人口減少・少子化対策、子育て支援政策、青年教育などのための基礎資料として活用する目的で実施しました。

#### (2) 調査方法と調査票回収状況

調査方法は以下のとおり。

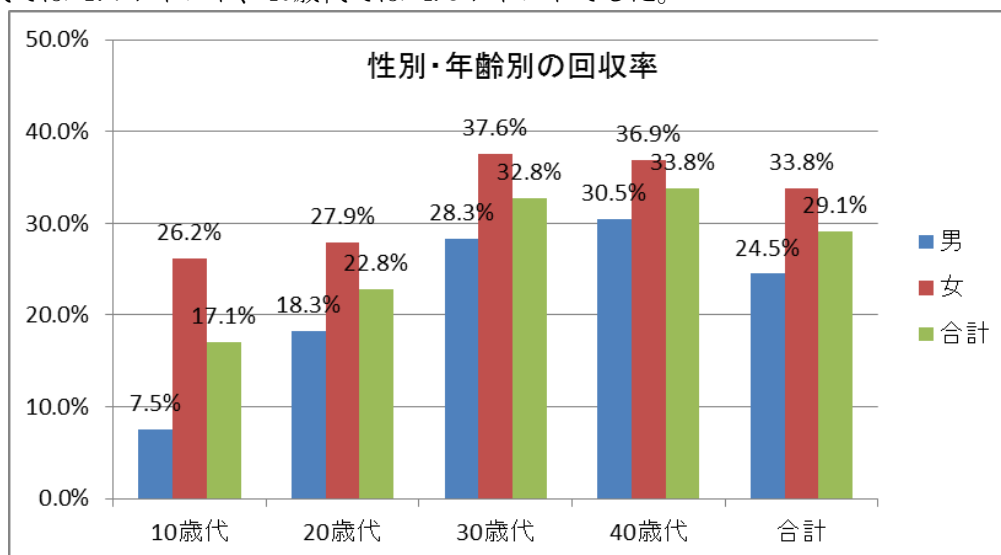
調査地域	南魚沼市全域
調査対象	年齢18歳以上45歳未満（平成24年4月1日現在）の市民
調査客体数	1,500人（男 767 女 733）
抽出方法	平成24年9月21日現在の住民基本台帳から、対象者17,162人のうち上記人数を無作為抽出
調査方法	郵送法およびインターネット回答
調査期間	平成24年10月5日（金）～平成24年10月31日（水）

回収結果は以下のとおり。

配布数	1,500通
回収数	437（調査票によるもの423 インターネットによるもの14）
回収率	29.1%

回収結果を性・年齢別で見ると、男女とも、女性の30歳代と40歳代を除いては、年齢とともに回収率が高くなっていて、男性は40歳代（30.5%）、女性は30歳代（37.6%）で最も高くなりました。また、どの年代においても男性よりも女性の回収率が高い結果となりました。

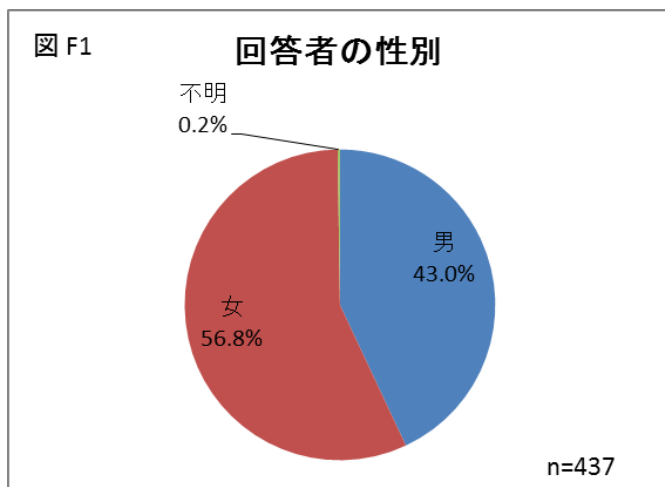
2012年7月に行われた「市民の声アンケート」の回収率と比較すると、20歳代では-3.3ポイント、30歳代では+1.7ポイント、40歳代では-4.3ポイントでした。



### (3) 回答者の属性

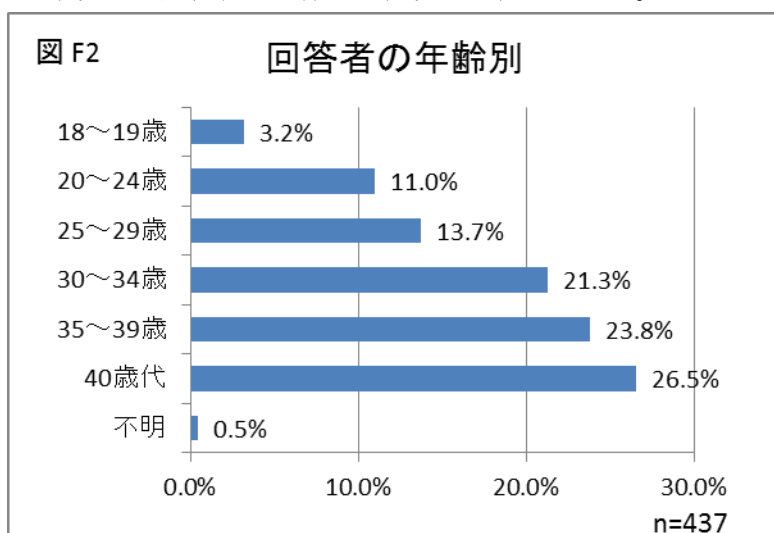
#### F 1. 性別

男性43.0%、女性56.8%で、女性が13.8ポイント高い。

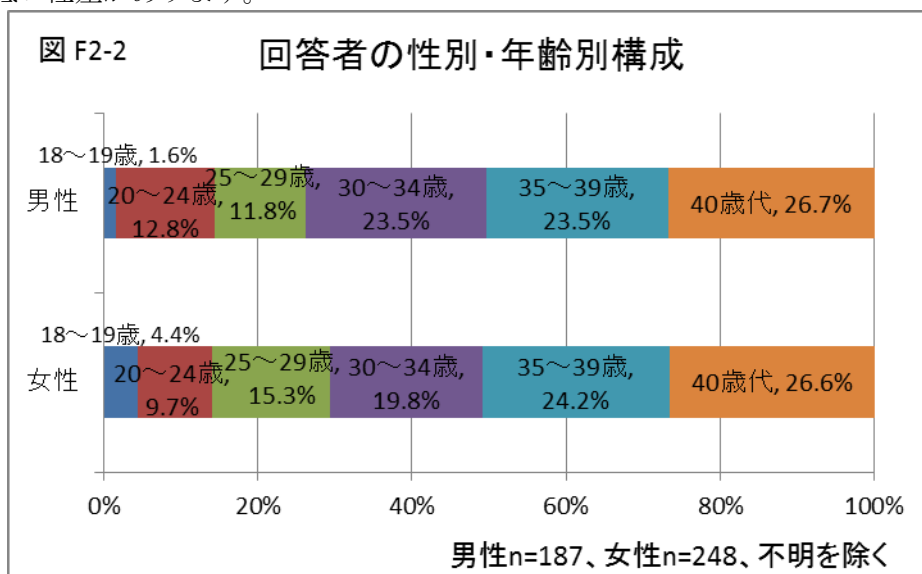


#### F 2. 年齢（5歳階級）別

40歳代(26.5%)の回答者が最も多く、これに次いで35歳～39歳(23.8%)、30歳～34歳(21.3%)が多く、30歳以上の回答者が全体の7割以上を占めました。

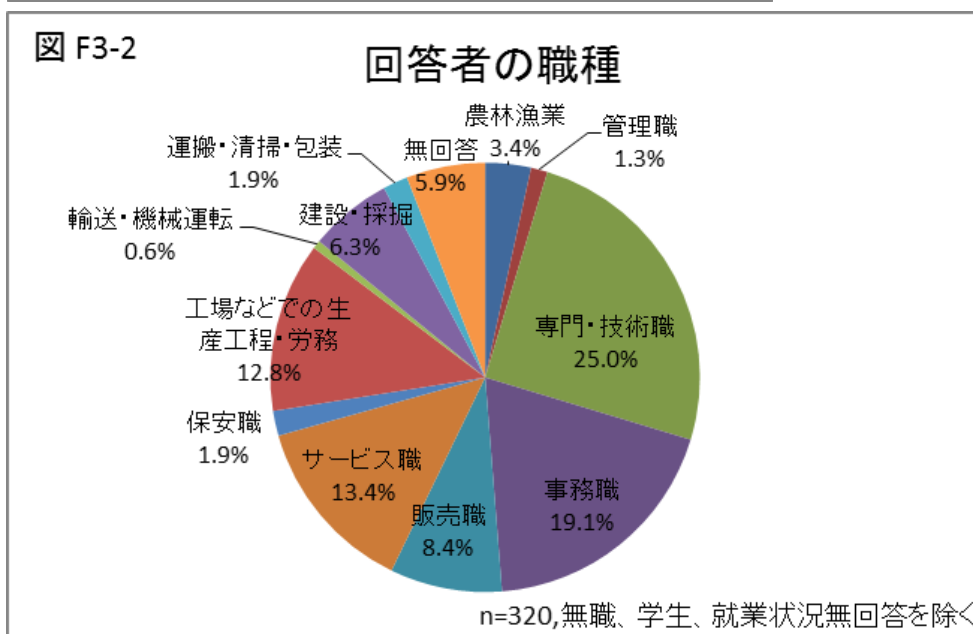
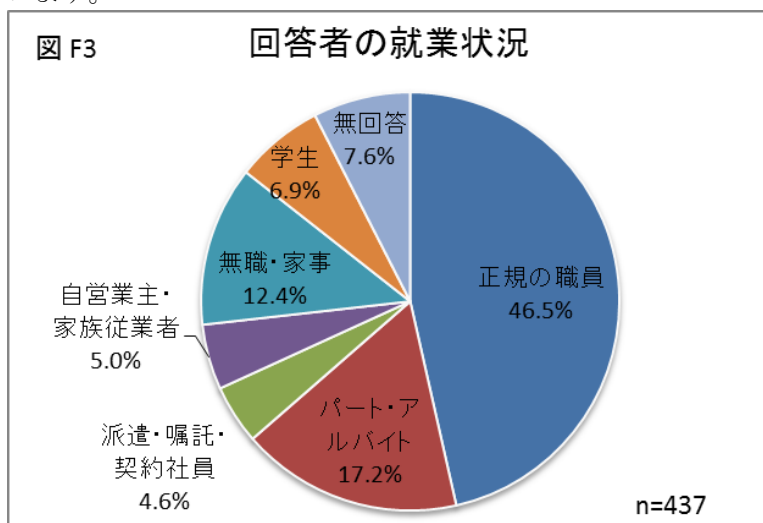


性別では、年齢構成に大きな差は見られませんが、女性は20歳代前半、男性は10歳代の構成率が若干低い性差があります。



### F 3. 就業状況別

就業状況別では、正規の職員が約半数を占め、次いでパート・アルバイト、無職・家事の順となっています。



## 2. 未婚者の意識

### (1) 未婚・既婚の別 …問 1 あなたは、「結婚」していますか？

回答者のうち約4割が、女性の「既婚または近々予定あり」が占め、いちばん大きい割合でした。また、男女別では、男性の約35%、女性の25%が未婚という結果になりました。

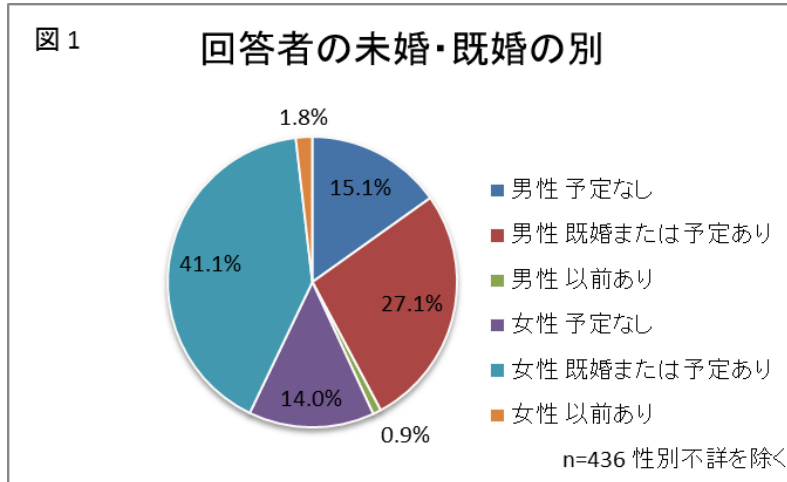
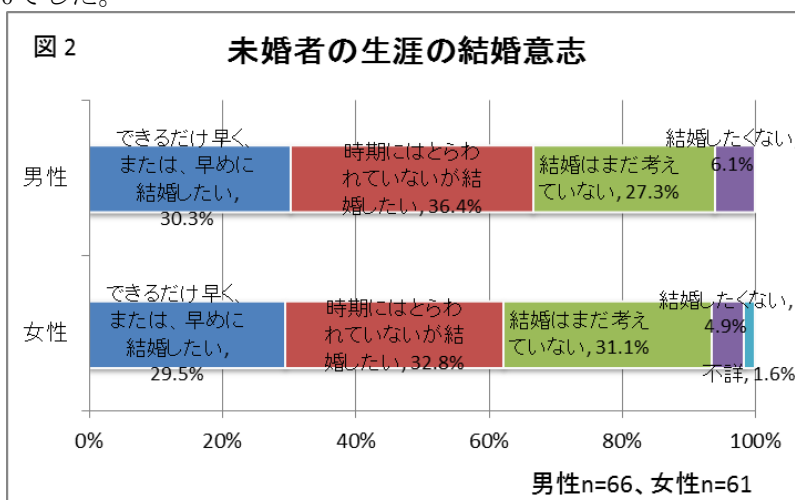


表-1 男女年齢別未婚者数

	男性				女性			
	結婚予定なし		既婚・近々予定あり・以前ありの計		結婚予定なし		既婚・近々予定あり・以前ありの計	
18～19 歳	3	(1.6%)	0	(0.0%)	10	(4.0%)	1	(0.4%)
20～24 歳	21	(11.2%)	3	(1.6%)	20	(8.1%)	4	(1.6%)
25～29 歳	5	(2.7%)	17	(9.1%)	12	(4.9%)	26	(10.5%)
30～34 歳	17	(9.1%)	27	(14.4%)	5	(2.0%)	44	(17.8%)
35～39 歳	9	(4.8%)	35	(18.7%)	9	(3.6%)	51	(20.6%)
40 歳代	11	(5.9%)	39	(20.9%)	5	(2.0%)	60	(24.3%)
	66	(35.3%)	121	(64.7%)	61	(24.7%)	186	(75.3%)

### (2) 未婚者の生涯の結婚意志 …問2 「結婚」について、あなたのお気持ちをお聞かせください。

いずれは結婚しようと思っている未婚者の割合は6割強ほど。「結婚はまだ考えていない」を肯定的に含めると、9割を超えています。「結婚したくない」とする未婚者は、男性6.1%、女性4.9%でした。



## 就業状況別にみた、結婚してもよいと考える未婚者割合

結婚について積極的に意識している未婚者の割合を就業構造別にみると、正規の職員で高く、次いで派遣・嘱託・契約社員、無職・家事の順となっていて、学生やパート・アルバイトで低い傾向にあります。

表-2

就業の状況	割合 (%)
正規の職員	76.4
パート・アルバイト	57.1
派遣・嘱託・契約社員	71.4
自営業主・家族従業者	*100.0
無職・家事	66.7
学生	44.8

「今のところ、結婚の予定はない」と回答した者のなかで、「できるだけ早く、または、早めに結婚したい」または「時期にはとらわれていないが結婚したい」と回答した者の割合。

\* サンプル数少数のため、参考数値

### (3) 希望する結婚年齢 …問3 ※問2で「できるだけ早くまたは早めに結婚したい」「時期にはとらわれていないが結婚したい」と回答した方におたずねします。何歳くらいで結婚したいと思いますか？

男女とも年齢が高くなるにつれ、現在の自分の年齢に近い年齢（近い将来）での結婚を望んでいます。特に女性は30歳、男性は35歳を超えると近い将来の年齢での結婚を望んでいるといえます。

表-3 未婚者の希望結婚年齢

男性	希望する結婚年齢						
	20歳になる前	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上
18～19歳 *	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～24歳		8.3%	83.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
25～29歳			75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～34歳				63.6%	36.4%	0.0%	0.0%
35～39歳					100.0%	0.0%	0.0%
40歳代						80.0%	20.0%

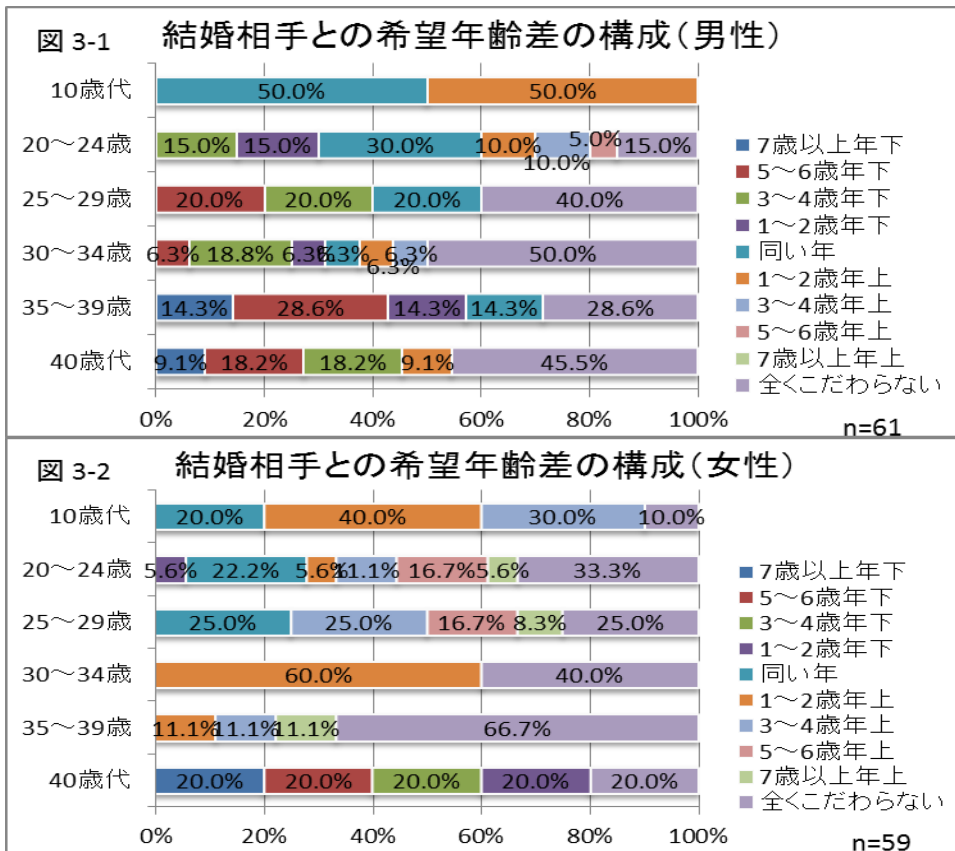
女性	希望する結婚年齢						
	20歳になる前	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上
18～19歳	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～24歳		36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
25～29歳			37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%
30～34歳				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
35～39歳					100.0%	0.0%	0.0%
40歳代						80.0%	20.0%

対象は、「できるだけ早く、または、早めに結婚したい」または「時期にはとらわれていないが結婚したい」と回答した結婚未経験者。

\*サンプル数少数のため、参考数値

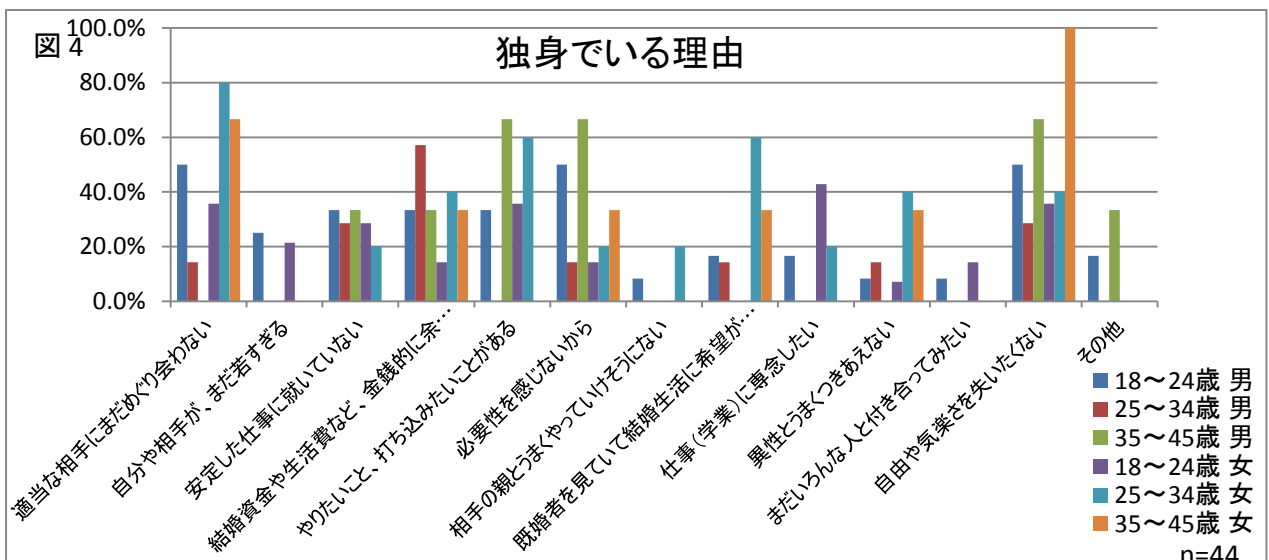
(4) 結婚相手との希望年齢差 …問5 結婚するとしたら、相手との年齢差はどのくらいを希望しますか？

結婚相手との年齢差についての希望をみると、「全くこだわらない」という人が全体の32.5%で、いちばん高い割合でした。男性では30～34歳と40歳代で、女性では35～39歳での割合が高くなっています。



(5) 独身でいる理由 …問4 ※問2で「結婚はまだ考えていない」「結婚したくない」と回答した方におたずねします。それはなぜですか？

未婚者に独身でいる理由をたずねたところ、「自由や気楽さを失いたくない」という答えが最多数で、現在の生活は気楽で自由、結婚後は気苦勞と束縛があると考えている独身者は多いと考えられます。「結婚したいと思える相手にまだめぐり合わない」との回答も多く、これは男性若年層と、女性の全年齢に多かったです。「やりたいこと、打ち込みたいことがある」は男女とも若い年齢層に割合が高く、「金銭的に余裕がない」「安定した仕事に就いていない」は、性別年齢を問わず回答がありました。

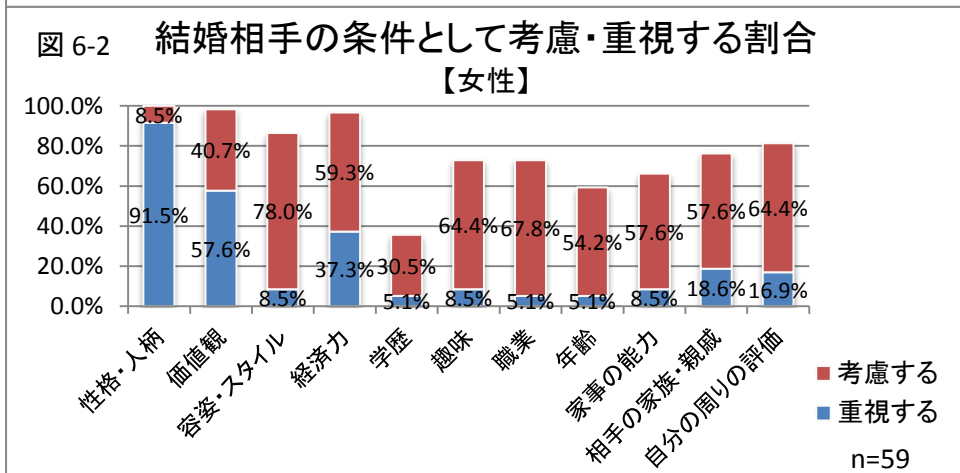
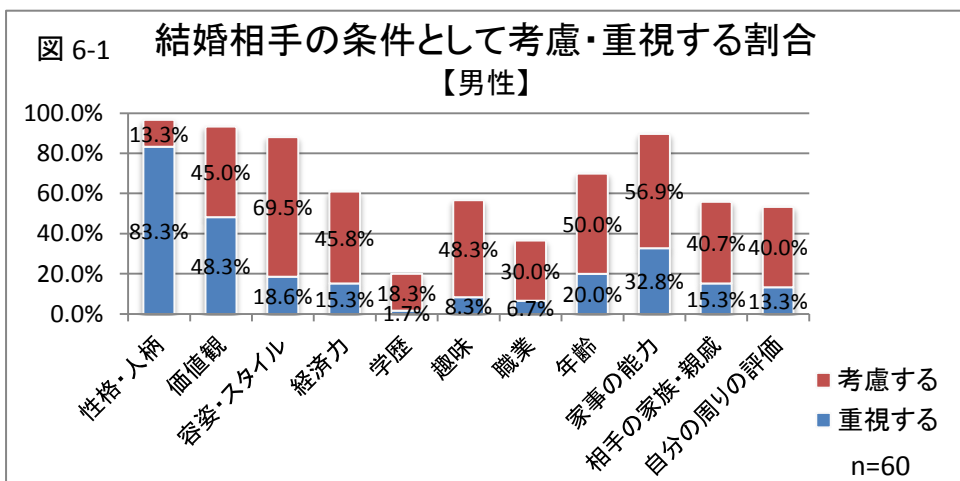


(6) 結婚相手の条件として考慮・重視する割合 …問6 あなたが、結婚する相手に求める条件は？  
 それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

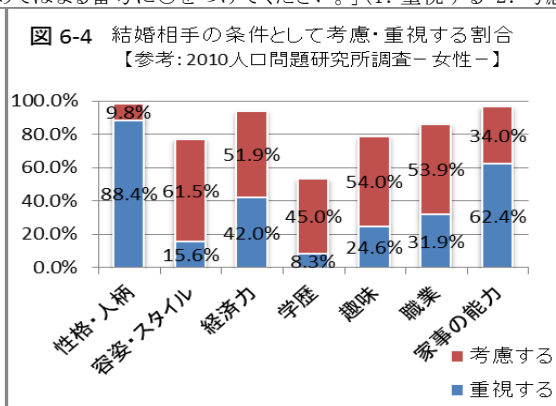
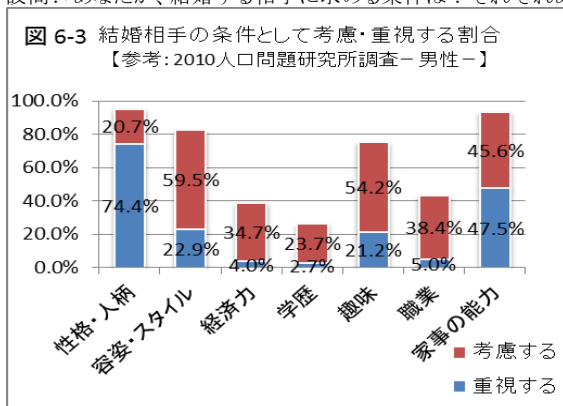
結婚の意思のある未婚者が、結婚相手に求める条件としては、男女とも「性格・人柄」を重視または考慮する人が最も多く、特に女性では100%の人が重視または考慮すると答えています。同様に「価値観」についても大多数の未婚者が重視しています。「容姿・スタイル」も男女とも高い割合となっていますが、特筆すべきは、男女とも重視する割合は高くはありませんが、考慮する割合が大変高いことです。

男女差をみると、男性は「家事の能力」を求める割合が高く、女性は「経済力」「職業」「自分の家族・友人・知人の評価」を重視・考慮する比率が高くなっています。

2010年の人口問題研究所の全国調査結果との比較では、男性の、相手の「趣味」に対して重視・考慮する割合が低く、女性の、相手の「家事の能力」に対して重視・考慮する割合が低い、ということがこの地域の特徴だと思われます。



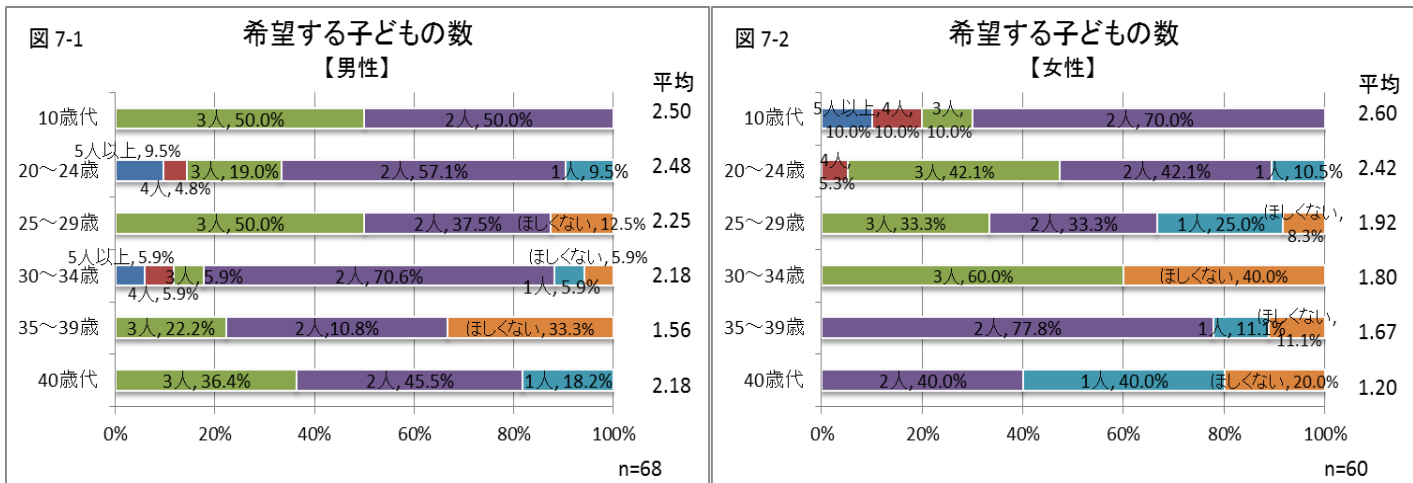
設問:「あなたが、結婚する相手に求める条件は?それぞれあてはまる番号に○をつけてください。」(1. 重視する 2. 考慮する 3. 気にしない)





(7) 未婚者の希望子ども数 …問7 あなたは、子どもを何人くらいほしいと思いますか？

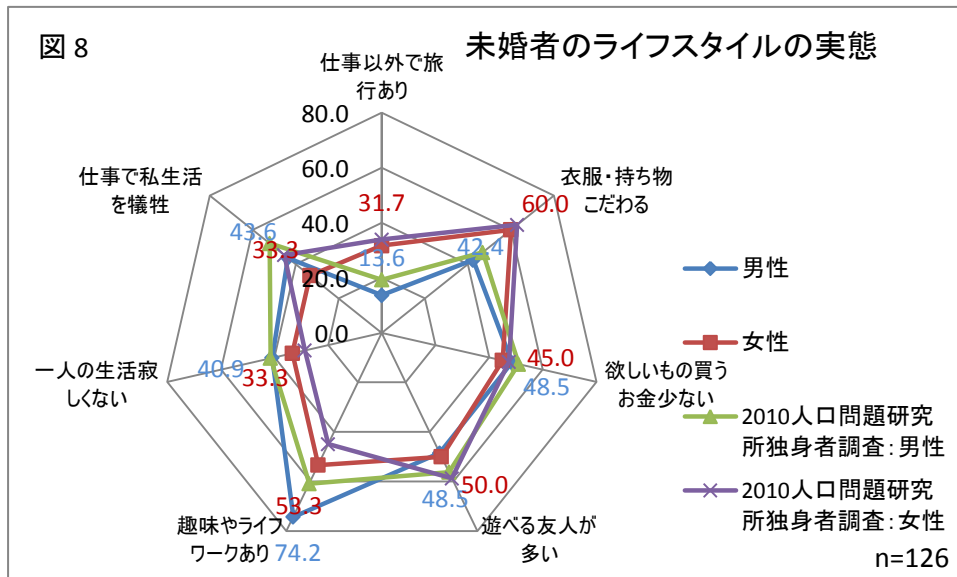
未婚者が希望する子どもの数の平均値は、男性では2.21人、女性では2.08人でした。



(8) 未婚者のライフスタイル …問8 次のそれぞれの生活スタイルが、あなたご自身にあてはまるかどうかについて、右の欄から選んでください。

未婚者の人付き合い、消費、仕事、生きがいの実態についてたずねました。「衣服・持ち物にこだわる」「仕事以外で旅行あり」の割合は女性で高く（それぞれ60.0%、31.7%）、「趣味・ライフワークあり」は男性で高い結果となりました（74.2%）。

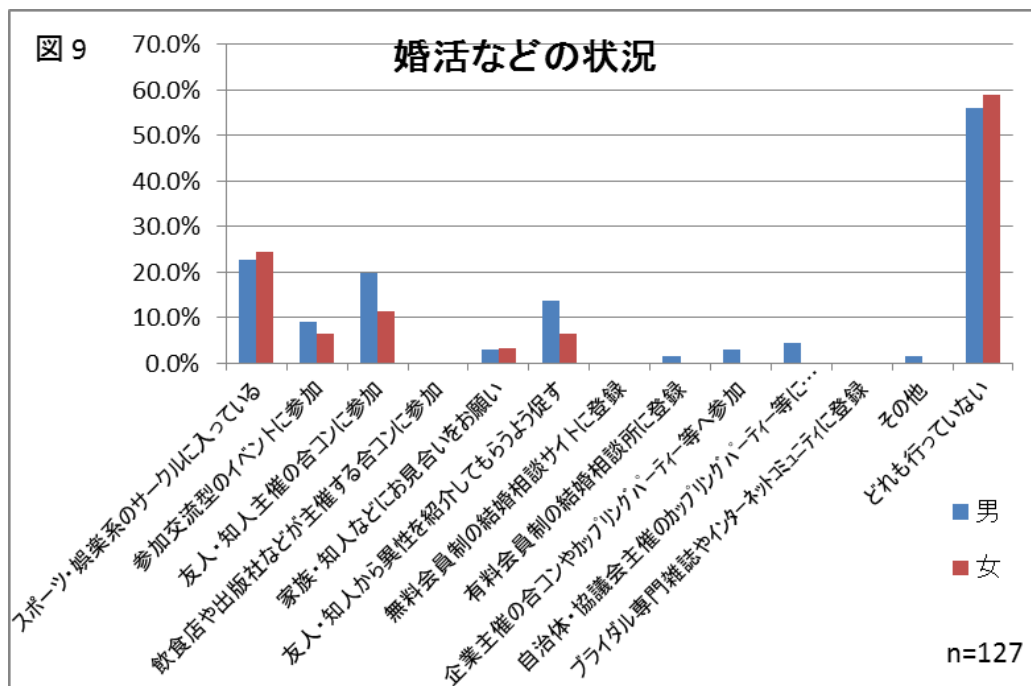
2010年の人口問題研究所の全国調査結果との比較では、全国よりも、「生きがいとなるような趣味やライフワークがある」割合が男女とも高く、「仕事以外で、国内旅行や海外旅行によく出かける」割合が男女とも低い。また、「仕事のために、私生活を犠牲にすることがよくある」と考える女性の割合が低くなりました。



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合計した回答割合

(9) 婚活の状況 …問9 あなたは、ふだん次のようなことを行っていますか？

選択肢にあるような活動を行っているかをたずねました。「どれも行っていない」人が圧倒的に多く、「スポーツ・娯楽系のサークルに入っている」と答えた人の中には、婚活目的ではない数も含んでいるので、いわゆる婚活を積極的にしている人は少ないと言えます。



(10) 異性との交際の状況 …問10 あなたには現在、交際している異性がありますか？

「交際している異性はいない」と回答した未婚者は、男性66.7%（2010年人口問題研究所の全国調査結果61.4%）、女性49.2%（同49.5%）で、交際相手をもたず、かつ交際を望んでいない未婚者は、男性16.7%（同27.6%）、女性13.1%（同22.6%）でした。

この地域の未婚者は、交際している異性がいる割合も、交際している異性がない割合も全国調査と同じくらいですが、交際中の相手といずれ結婚したい割合や、交際相手はいないが交際を望んでいる割合は高い結果となりました。

表 10

	男性	女性	2010 人口問題 研究所調査： 男性	2010 人口問題 研究所調査： 女性
恋人として交際している異性がいる (いずれ結婚したいと思っている)	22.7%	36.1%	22.8%	30.9%
(とくに結婚は考えていない)	19.7%	24.6%	15.1%	21.9%
友人として交際している異性がいる (いずれ結婚したいと思っている)	10.6%	14.8%	9.4%	11.9%
(とくに結婚は考えていない)	4.5%	8.2%	1.5%	2.0%
交際している異性はいないが、交際は望んでいる	6.1%	6.6%	7.6%	9.6%
とくに異性との交際を望んでいない	50.0%	36.1%	32.6%	25.7%
	16.7%	13.1%	27.6%	22.6%

(11) 結婚を考えたとき気になること …問 11 あなたが結婚について考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか？

結婚することを考えたとき、気になることについてたずねました。「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」「住む場所が制約されないか」「お金を自由に使えるか」が上位を占めました。

2010年の人口問題研究所の全国調査結果との比較では、男女とも「住む場所が制約されないか」と考える割合が全国調査よりも高く、男性で「ファッションや食物などの好み制約されないか」と考える人の割合が高く、「お金を自由に使えるか」と考える女性の割合が低くなりました。

表 11

		お金を自由に使えるか	職業を自由に選べるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	ファッションや食物などの好み制約されないか	自由な人生設計ができるか
男性	総数	37.7%	19.7%	21.3%	50.8%	36.1%	65.6%	21.3%	26.2%
	18～24歳	50.0%	25.0%	29.2%	58.3%	54.2%	58.3%	29.2%	33.3%
	25～34歳	27.3%	9.1%	22.7%	45.5%	22.7%	59.1%	22.7%	22.7%
	35～45歳	25.0%	20.0%	5.0%	35.0%	20.0%	65.0%	5.0%	15.0%
調査問題研究所 2010人口 [男性]	総数(18～34)	46.1%	12.6%	17.5%	46.7%	13.8%	48.7%	12.3%	20.8%
	18～24歳	45.5%	14.0%	17.8%	48.3%	14.0%	48.3%	13.4%	22.9%
	25～34歳	46.7%	11.2%	17.1%	45.5%	13.6%	49.1%	11.3%	18.8%
女性	総数	25.8%	21.2%	33.3%	53.0%	27.3%	54.5%	27.3%	24.2%
	18～24歳	33.3%	23.3%	36.7%	50.0%	23.3%	60.0%	23.3%	30.0%
	25～34歳	29.4%	35.3%	47.1%	70.6%	41.2%	64.7%	35.3%	35.3%
	35～45歳	14.3%	7.1%	21.4%	57.1%	28.6%	50.0%	35.7%	7.1%
調査問題研究所 2010人口 [女性]	総数(18～34)	46.5%	20.6%	31.7%	51.1%	19.4%	60.5%	24.9%	20.8%
	18～24歳	46.0%	22.5%	32.8%	53.7%	18.6%	58.3%	25.4%	22.9%
	25～34歳	47.2%	18.2%	30.4%	47.7%	20.4%	63.2%	24.4%	18.8%

男性 n=66 女性 n=61

注)それぞれの項目にあてはまる全てに回答が可能

※「その他」の主な回答：『相手の家族と同居するかどうか』『子どもを望んでいるか』『相手と生涯を共にできるかどうか』など

### 3. 既婚者の意識

#### (1) 出会いのきっかけ …問12 パートナーとはどこで知り合いましたか？

結婚を経験している人（予定者を含む。以下既婚者）が、パートナーと知り合ったきっかけについては、「友人・兄弟姉妹を通じて」が約37%と最も割合が高く、次いで「職場や仕事で」が約27%となっています。この2つと「学校で」（約12%）をあわせた上位3つで75%を超えました。

この傾向は、2010年の人口問題研究所の全国調査結果と同様で、数字を見ても非常に近い値となりました。

表 12

	職場や仕事で	友人・兄弟姉妹を通じて	学校で	先で街なかや旅	サークル・クラブ・習い事	アルバイトで	幼なじみ・隣人	情報サービス	結婚相談所などの結婚情報サービス	見合い結婚	出会いを通して	インターネット	その他
男性	29.5%	36.1%	11.5%	4.9%	4.9%	3.3%	1.6%	0.0%	0.8%	3.3%	4.1%		
女性	26.1%	37.2%	12.2%	4.3%	3.7%	4.3%	1.6%	0.0%	3.7%	0.5%	6.4%		
2010人口問題研究所調査：夫婦調査	29.3%	29.7%	11.9%	5.1%	5.5%	4.2%	2.4%	-	5.2%	-	6.8%		

n=308

対象は問1で「現在、結婚している、または、近々結婚する予定である」または「以前、結婚していた」と答えた者。  
 ※「その他」の主な回答：『同窓会で』『イベントで』『友人の結婚式で』など。

#### (2) 結婚のきっかけ …問13 あなたが最終的に結婚を決めたきっかけは何ですか？

夫婦が最終的に結婚を決めたきっかけについて見ると、「年齢的に適当な時期だと感じた」「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」というきっかけが多数を占めています。ただし、「年齢的に適当な時期だと感じた」人の割合は25歳を超えてから高くなり、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」と感じた割合は若い年齢層が高くなっています。

表 13

		結婚資金の用意ができた	結婚生活のための経済的基盤ができた	情	自分または相手の仕事の事	一緒に暮らしたかった	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	年齢的に適当な時期だと感じた	年齢的に適当な時期だと感じた	子どもができた	友人や同年代人たちの結婚	親や周囲のすすめ	その他
男性	総数	0.8%	6.6%	4.1%	33.9%	43.0%	5.8%	19.0%	5.0%	8.3%	6.6%		
	18~24歳*	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
	25~29歳	0.0%	11.8%	11.8%	29.4%	17.6%	5.9%	29.4%	0.0%	11.8%	0.0%		
	30~34歳	0.0%	14.8%	7.4%	18.5%	51.9%	7.4%	11.1%	7.4%	14.8%	11.1%		
	35歳~	1.4%	2.7%	1.4%	39.2%	43.2%	5.4%	18.9%	5.4%	5.4%	6.8%		
女性	総数	1.6%	4.8%	5.3%	21.4%	51.9%	11.2%	19.3%	4.8%	9.6%	14.4%		
	18~24歳*	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%		
	25~29歳	0.0%	3.8%	11.5%	26.9%	53.8%	11.5%	19.2%	3.8%	3.8%	11.5%		
	30~34歳	2.3%	2.3%	6.8%	25.0%	47.7%	13.6%	22.7%	2.3%	9.1%	13.6%		
	35歳~	1.8%	6.3%	3.6%	17.0%	55.4%	8.9%	17.0%	6.3%	10.7%	16.1%		
		男性 n=121、女性 n=187											
2010人口問題研究所調査：夫婦調査	総数	4.2%	11.4%	10.2%	23.9%	48.3%	7.4%	20.2%	2.5%	7.1%	5.5%		
	18~24歳	5.0%	8.5%	4.6%	28.1%	24.6%	5.8%	50.0%	1.9%	5.8%	3.5%		
	25~29歳	5.2%	12.6%	12.8%	22.7%	53.9%	7.2%	12.4%	3.1%	6.0%	5.4%		
	30~34歳	2.5%	12.0%	11.6%	19.3%	57.8%	8.7%	11.6%	2.2%	9.5%	6.2%		
	35歳~	2.6%	12.0%	8.5%	30.8%	55.6%	8.5%	6.0%	1.7%	9.4%	9.4%		

n=1,136

設問は、選択肢のうち2つまでを選んでもらうもの。 \* サンプル数少数のため、参考数値

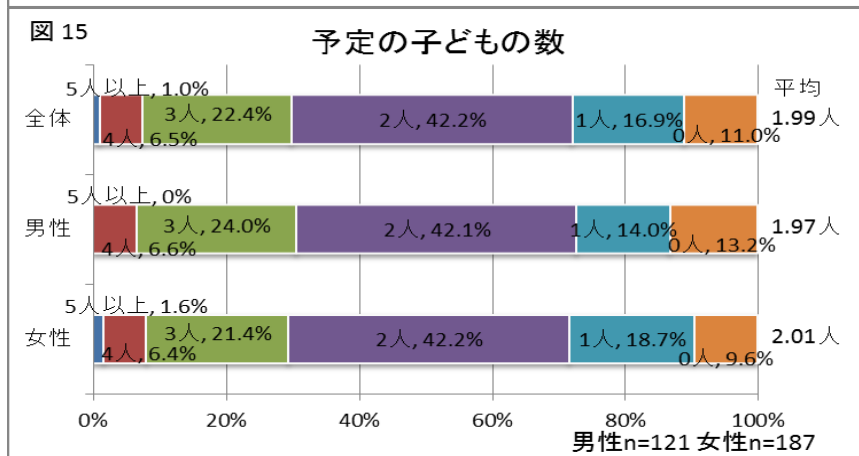
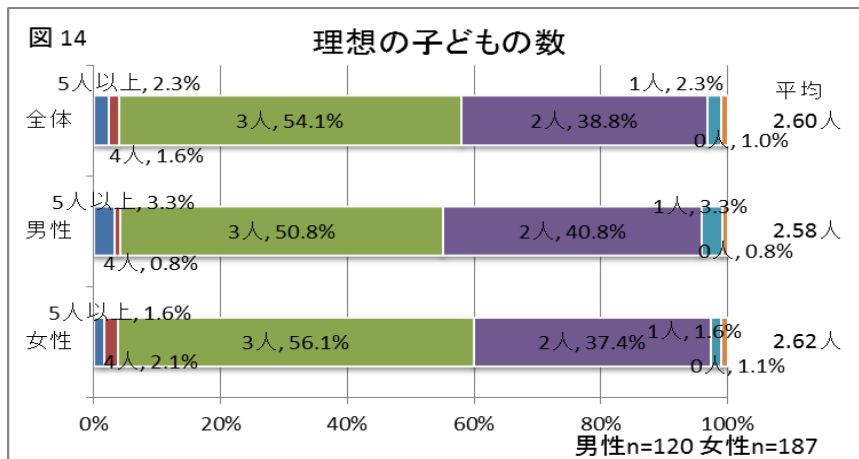
※「その他」の主な回答：『相手の人格と相手の親の人格』『家族の健康状態が悪くなった』『タイミング』『なんとなく』『勢い』『きっかけとなる理由はない。ただその時に結婚したいと思った』など。

(3) 理想子ども数 …問14 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか？

(4) 予定子ども数 …問15 では、あなたには、何人のお子さんがいらっしゃいます(最終的に何人のお子さんを持つ予定です)か？

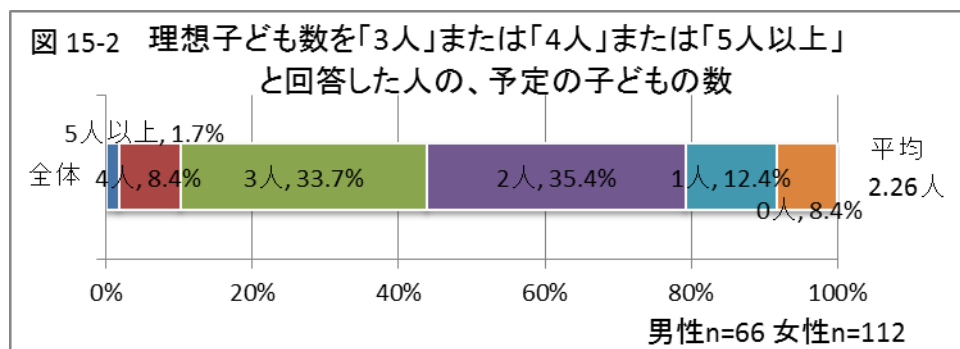
既婚者にたずねた理想の子ども数、2.60人で、また、実際に持つつもりの子どもの数は2人を下回り、1.99人でした。

2010年の人口問題研究所の全国調査・夫婦調査結果は、各2.42人、2.07人で、全国結果よりも理想の子ども人数と実際の人数との差が大きくなりました。



平均子ども希望数は、5人以上を5として算出した。

理想子ども数を「3人」または「4人」または「5人以上」と回答した人の実際の予定子ども数をみても、平均は2.26人で、2人以下の人が半数以上となっていて、出生の意欲はあっても実現されていない姿が浮き彫りになっています。



## 4. 若者全体の意識

(1) 結婚の利点 …問16 あなたにとって、結婚する(した)ことは、利点があると思いますか？また、あると思う方は、結婚することの具体的な利点を選んで○をつけてください

結婚することに利点があると感じている人は95.2%で、おおかたの人が結婚について利点を感じていて、人口問題研究所の全国調査と比較しても大変高い割合となりました。

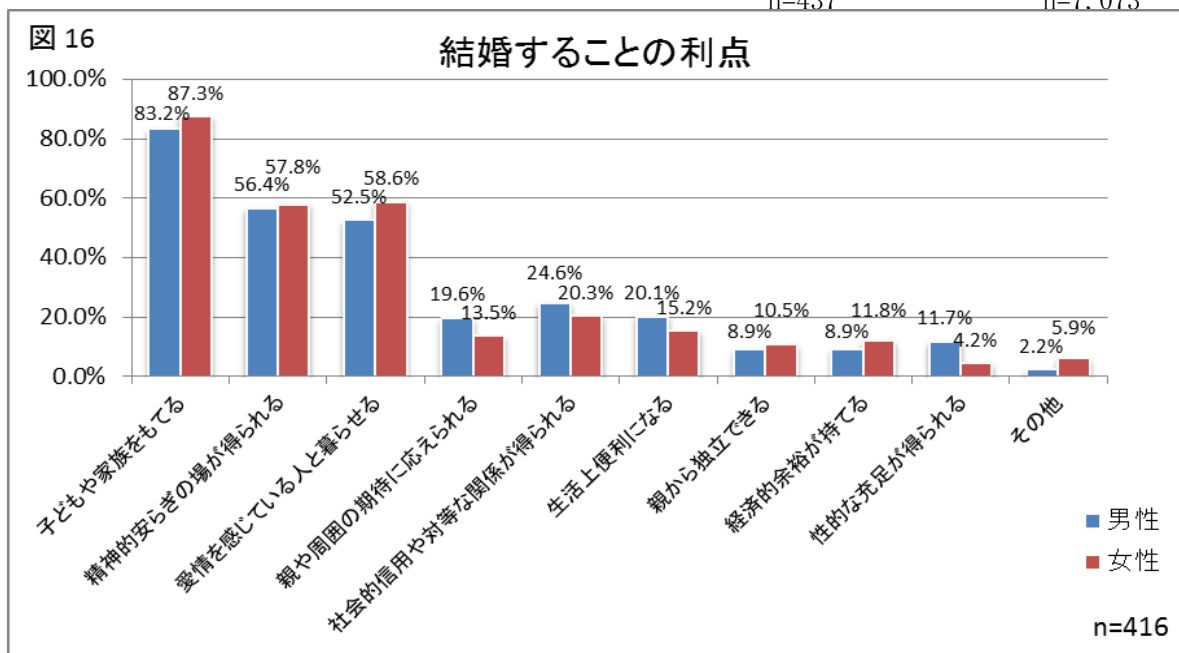
具体的な利点としては、「子どもや家族をもてる」を挙げる人が男女ともトップで、「精神的安らぎの場が得られる」「愛情を感じている人と暮らせる」が次いで5割を超える高い項目でした。また、「その他」の記述で、「自分が成長できる」という内容を書いた人が多かったのも特徴的でした。

表 16

	全体	男性	女性	2010 人口問題研究所調査: 独身者調査	
				男性	女性
利点があると思う	95.2%	95.2%	95.6%	62.4%	75.1%
利点がないと思う	3.9%	3.2%	4.4%	34.3%	22.0%
不詳	0.9%	1.6%	0.0%	3.3%	2.8%

n=437

n=7,073



※「その他」の主な回答：『“彼女”という立場よりも周囲に認めてもらえ、何か問題があった時に法律が守ってくれる』『子供や家族を持つ事で、守るべき人ができ、責任を持つ事ができ、人間として成長したり、学ぶことができる』『生きる糧になる(家族が)』『親・子、ともに成長できる』『自分自身が成長し、人間として成熟できる』『利点があるか無いかは、半々』『老後はさみしくないと思う』『独身だと死亡したときにほかの人に迷惑がかかる』など

(2) 独身の利点 …問17 あなたにとって、独身生活は、利点があると思いますか？また、あると思う方は、独身生活の具体的な利点を選んで○をつけてください

独身生活に利点があると感じている人は89.7%で、こちらも大変高い割合となりました。

独身生活の利点は、男女とも「行動や生き方が自由」を挙げる人が圧倒的に多く、それ以外では「金銭的に裕福」「家族扶養の責任がなく気楽」「広い友人関係を保ちやすい」が多くなっています。

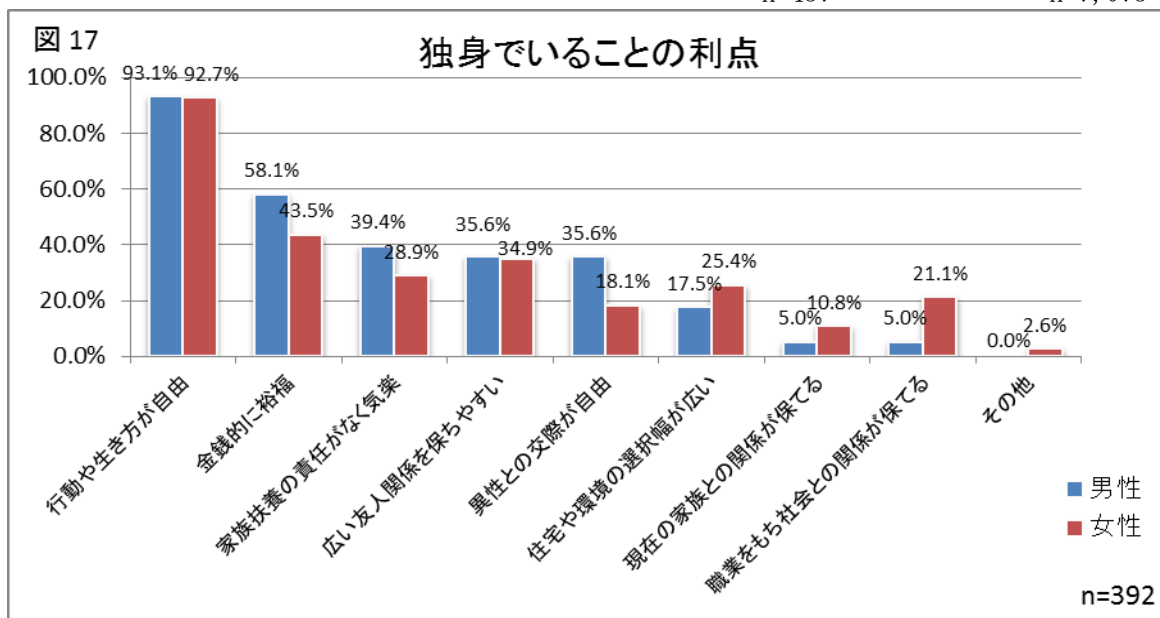
男女別では、「金銭的に裕福」「異性との交際が自由」を利点に挙げる人は男性に多く、「現在の家族との関係が保てる」「職業をもち社会との関係が保てる」は女性に多くなっています。

表 17

	全体	男性	女性	2010 人口問題研究所調査: 独身者調査	
				男性	女性
利点があると思う	89.7%	85.1%	93.5%	81.0%	87.6%
利点がないと思う	7.6%	9.6%	6.0%	15.6%	9.2%
不詳	2.7%	5.3%	0.4%	3.4%	3.2%

n=437

n=7,073



対象は回答者全員。利点については複数回答

※「その他」の主な回答：『時間帯や休みなど条件を絞らず、仕事をやることができる』『相手の親や親せきとかかわるストレスがなくてよい』『自分自身と向き合い正直に貫ける』など

### (3) 結婚・家族に関する意識 …問18 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについては、いろいろな考え方がありますが、次にあげた例について、どう考えますか？

結婚、家族、男女関係などに関する考え方を11項目にわたって調べました。男女双方の8割以上が「③婚前の性交渉はかまわない」「④女らしさや男らしさはある程度必要」「⑤結婚しても自分だけの目標を持つべき」という考えを支持していて、これは人口問題研究所の調査と同様の結果でした。「⑧子どもは持つべき」「②同棲より結婚すべき」という考えも約7割の支持を得ていて、「①生涯独身でいるのはよくない」「⑩性格の不一致くらいで別れるべきではない」も約6割の人が支持しています。

逆に、支持が低いのは「⑦結婚後は、夫は仕事、妻は家庭」が約2割で、次いで「⑩結婚せずに子どもを持ってよい」が約4割となっています。

どの項目も人口問題研究所調査と似た結果となりましたが、「⑦結婚後は、夫は仕事、妻は家庭」は全国調査に比べかなり支持率が低くなりました。

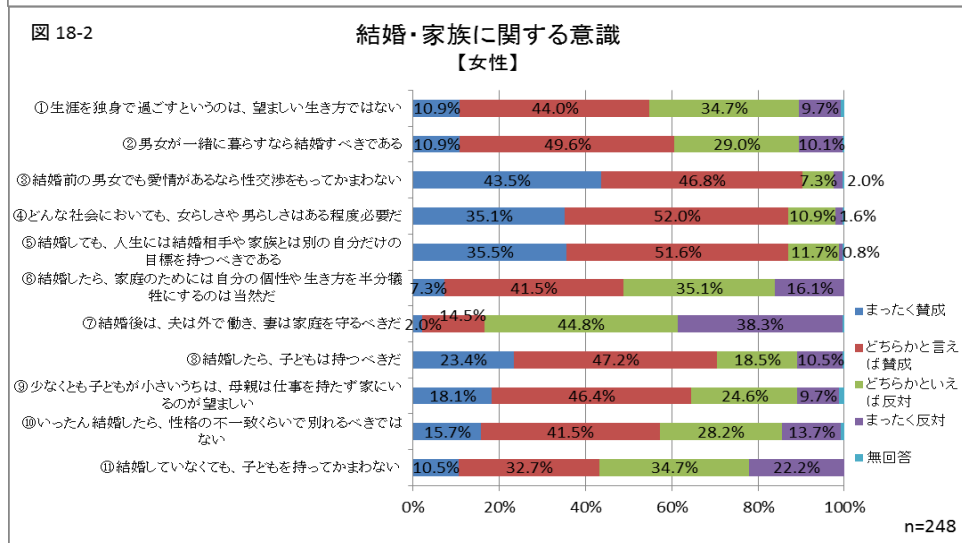
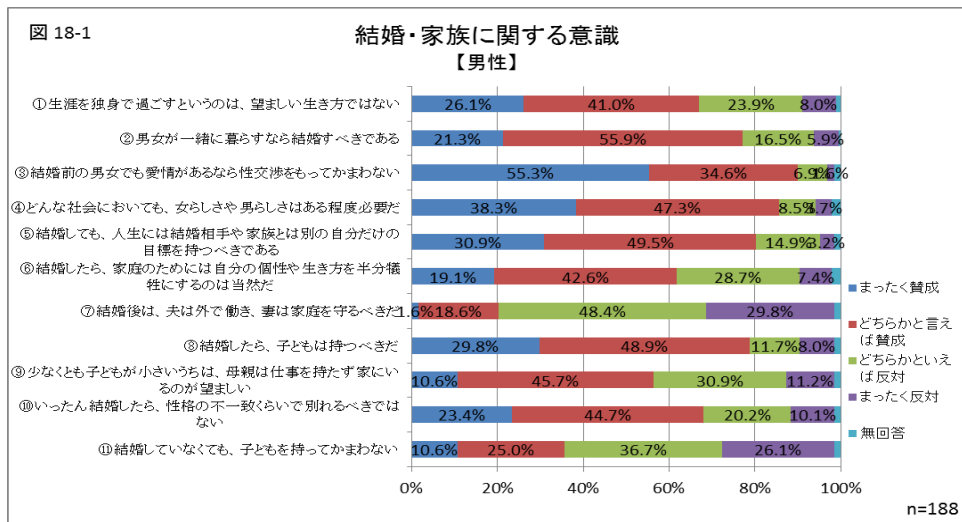


表 18 結婚・家族に関する意識

	男性		女性		2010 人口問題研究所独身者調査：男性		2010 人口問題研究所独身者調査：女性		2010 人口問題研究所夫婦調査：妻	
	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
①生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	67.0%	31.9%	54.8%	44.4%	64.0%	31.9%	57.1%	39.4%	57.9%	38.7%
②男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	77.1%	22.3%	60.5%	39.1%	73.5%	22.8%	67.4%	29.4%	68.5%	28.5%
③結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	89.9%	8.5%	90.3%	9.3%	84.0%	11.9%	83.2%	13.0%	89.2%	7.7%
④どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	85.6%	12.2%	87.1%	12.5%	86.1%	10.4%	85.0%	11.8%	88.2%	9.1%
⑤結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	80.3%	18.1%	87.1%	12.5%	81.2%	14.9%	84.2%	11.9%	84.9%	12.2%
⑥結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	61.7%	36.2%	48.8%	51.2%	58.2%	38.0%	45.4%	51.2%	52.4%	44.8%
⑦結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	20.2%	78.2%	16.5%	83.1%	36.0%	60.1%	31.9%	64.7%	30.9%	66.2%
⑧結婚したら、子どもは持つべきだ	78.7%	19.7%	70.6%	29.0%	77.3%	18.7%	70.1%	26.3%	67.8%	28.6%
⑨少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	56.4%	42.0%	64.5%	34.3%	73.3%	22.9%	75.4%	21.5%	66.2%	30.7%
⑩いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	68.1%	30.3%	57.3%	41.9%	72.3%	23.8%	62.2%	34.1%	58.2%	38.5%
⑪結婚してなくても、子どもを持ってかまわない	35.6%	62.8%	43.1%	56.9%	31.6%	64.7%	33.7%	62.9%	39.1%	57.9%

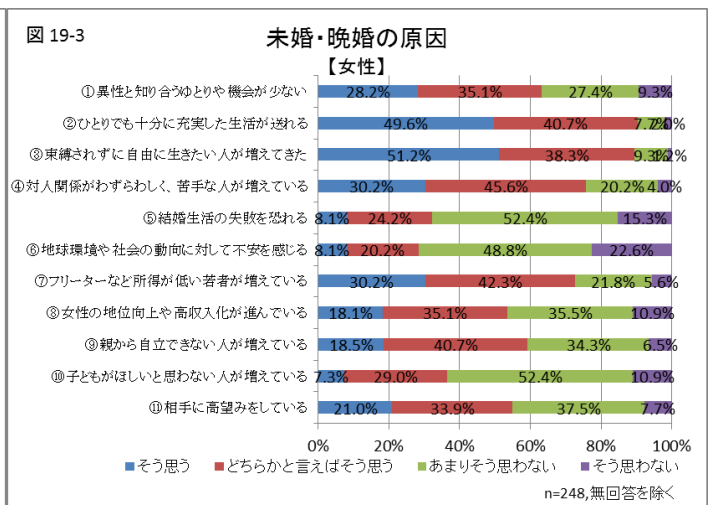
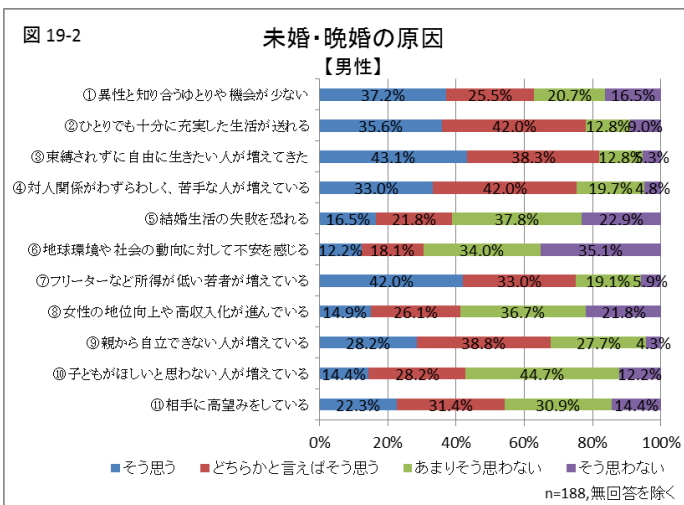
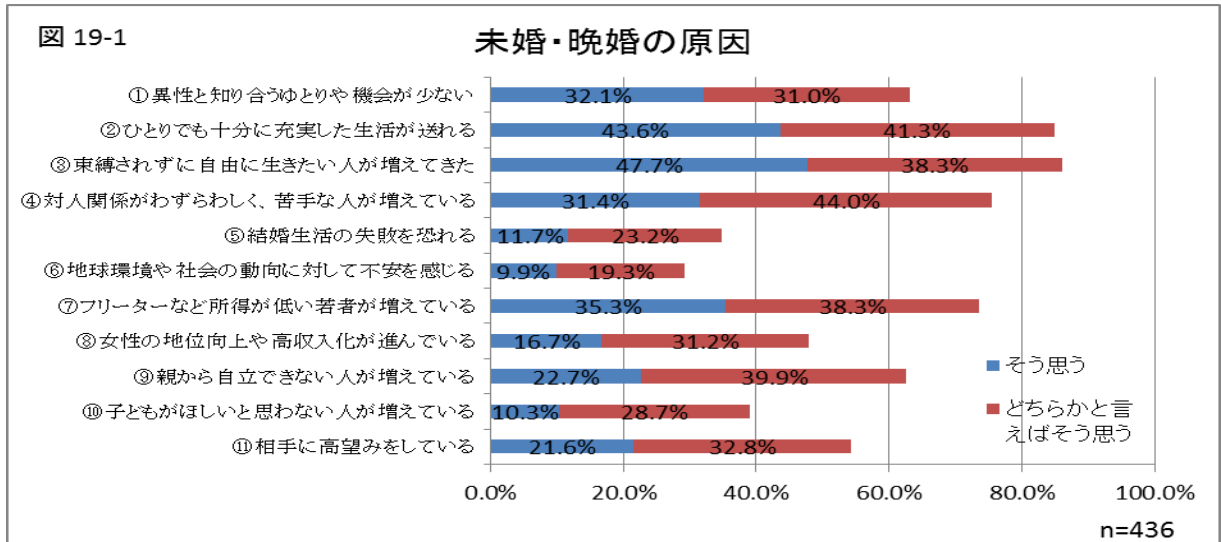
※「まったく賛成」と「どちらかと言えば賛成」の計を「賛成」に、「どちらかと言えば反対」と「まったく反対」の計を「反対」に計上した。不詳は除く。



(4) 未婚・晩婚の原因 …問19 最近、結婚しない人や晩婚の人が増えている理由・原因として、次のようなことが考えられていますが、あなたはどのように思いますか？

未婚・晩婚の原因についてたずねました。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」割合を合わせたものが高い項目は、「③自由に生きたい人が増えた」、「②ひとりでも充実した生活が送れる」が80%を超え、「④対人関係が苦手な人が増えている」「⑦所得が低い若者が増えている」が70%を超えていて、これに次いでいます。

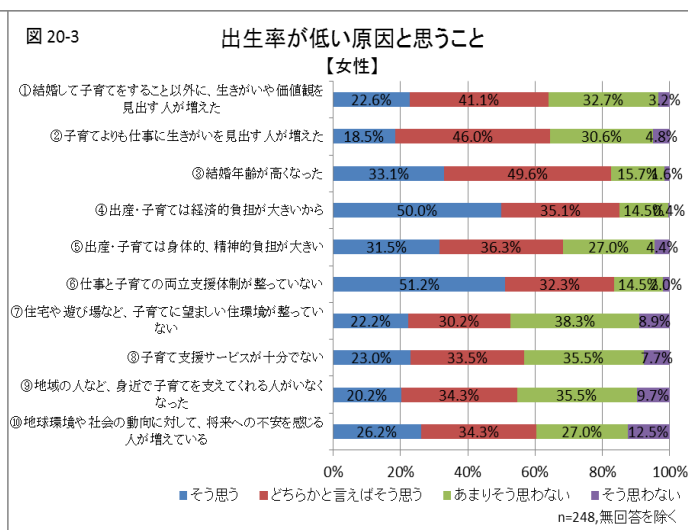
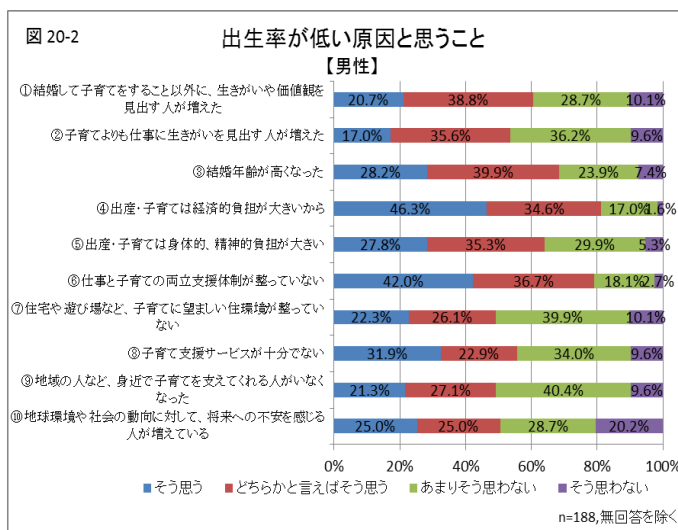
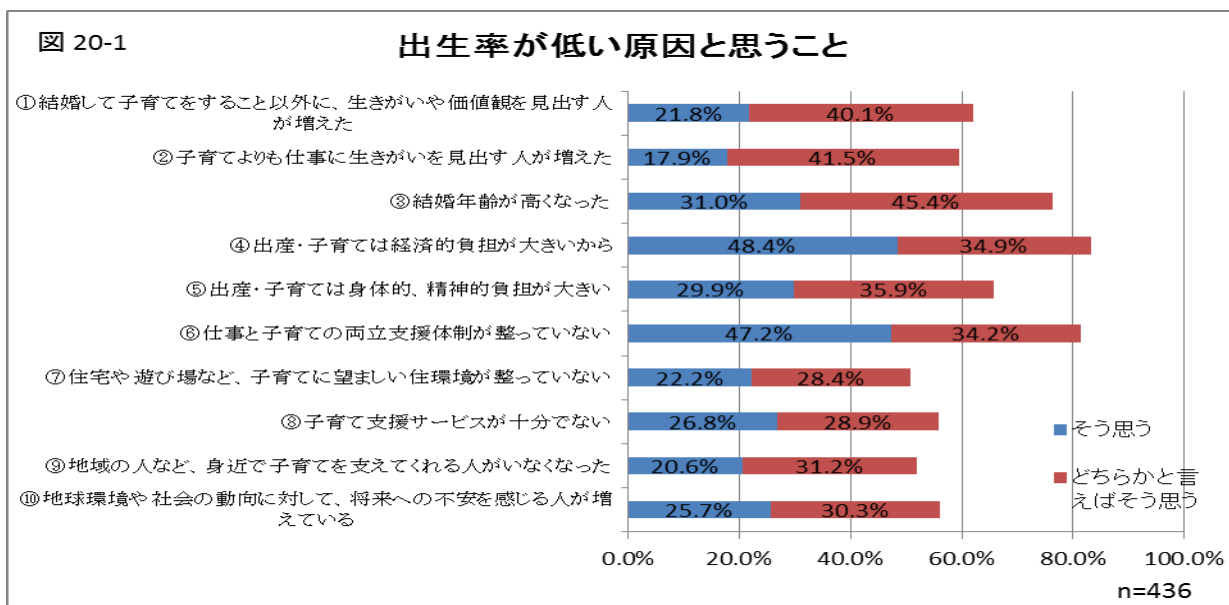
③と②の上位2項目は、特に女性から約9割という高い割合で、そう思われています。また、「⑧女性の地位向上や高収入化」が原因と思う人は女性の方が割合が高くなっています。



(5) 出生率が低い原因 …問20 出生率が低い理由・原因として、次のようなことが考えられていますが、あなたはどのように思われますか？

出生率が低い原因についてたずねました。「④出産・子育ては経済的負担が大きいから」が「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合で83.3%と最も高く、「⑥仕事と子育ての両立支援体制が整っていないから」も81.4%と高くなりました。次いで「③結婚年齢が高くなった」(76.4%)、「⑤出産・子育ては身体的、精神的負担が大きい」(65.8%)「①結婚して子育てをすること以外に、生きがいや価値観を見出す人が増えた」(61.9%)となっています。

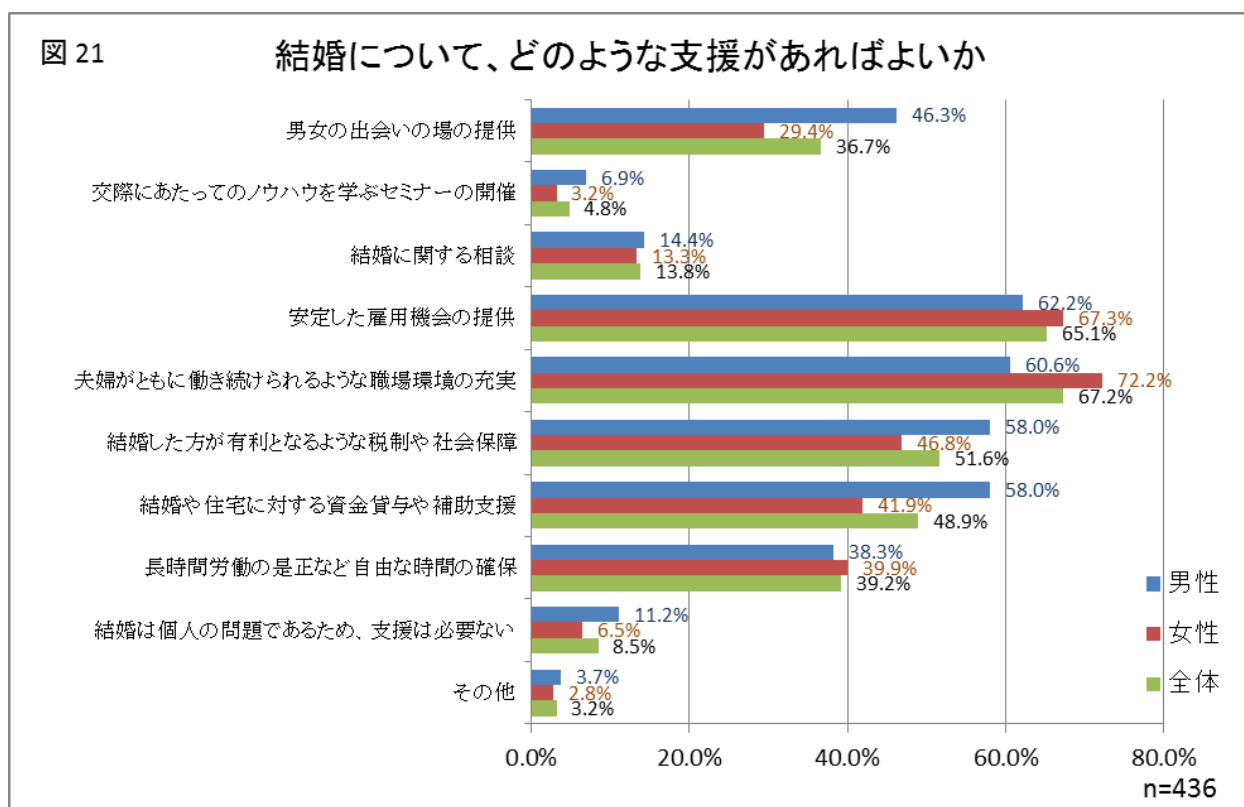
また、「⑩地球環境や社会の動向に対して、将来への不安を感じる人が増えている」を原因に挙げる女性の割合が男性に比べてやや高い以外は、項目において性差はほとんど見られませんでした。



(6) 結婚についての支援 …問21 あなたが結婚について考えたとき、総合的にみて、どのような支援があればよいと思いますか？

結婚について、どのような支援があればよいかたずねました。「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が67.2%で最多で、「安定した雇用機会の提供」も65.1%で高い割合でした。その他は「結婚した方が有利となるような税制・社会保障」（51.6%）、「結婚や住宅に対する資金貸与・補助支援」（48.9%）と続きました。

男性は「男女の出会いの場の提供」、「結婚した方が有利となるような税制・社会保障」、「結婚や住宅に対する資金貸与・補助支援」を挙げる人が女性に比べて高く、女性は「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」を挙げる人が男性に比べ高いという差が出ました。



複数回答。

※「その他」の主な回答：『母方の親と同居の推進奨励』『女性の意識改革セミナー』『結婚祝い金』『Vターン資金の導入』『結婚や子供を産む世代への給料支援』『会社が子育てや介護に理解があること』など。

## 自由記載欄のまとめ

調査票の最終ページに自由記載欄を設けました。

[設問]

本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口減少問題などについて、ご意見などがございましたら、下記の欄にどのようなことでもご自由にお書きください。

その結果、173人の方から記載をいただきました。内容を大まかに分類すると、次のとおりです。

内容	件数
地域的ハンデについて	3
住みやすい・魅力的な地域へ	7
出会いの場について	12
結婚・子育ての幸福感について	5
子育て世代への支援について	22
子育て施設や子育て関連施設の充実について	14
結婚・出産・子育てを優遇することについて	7
高齢者より子どもや若者への支援を	3
中高生の親支援について	3
医療機関・医療費について	16
不妊治療について	13
食の安全・食育について	2
経済的不安について	24
雇用・賃金について	11
出産・育児のための休暇・労働時間・職場環境について	16
商業施設・企業誘致について	2
社会的不安について	9
最近の気質や風潮について	17
社会全体で取り組む	7
すすめ方についての意見	10
今の気持ちについて	5
期待の声	4
上記以外の意見	9

※内容が多岐にわたるものがあるため、件数の合計は記載した人数の合計とは合致しません。